Press Release

2026 年 11 月 6 日

報道関係者各位

株式会社オプティム
（東証プライム市場、コード：3694）

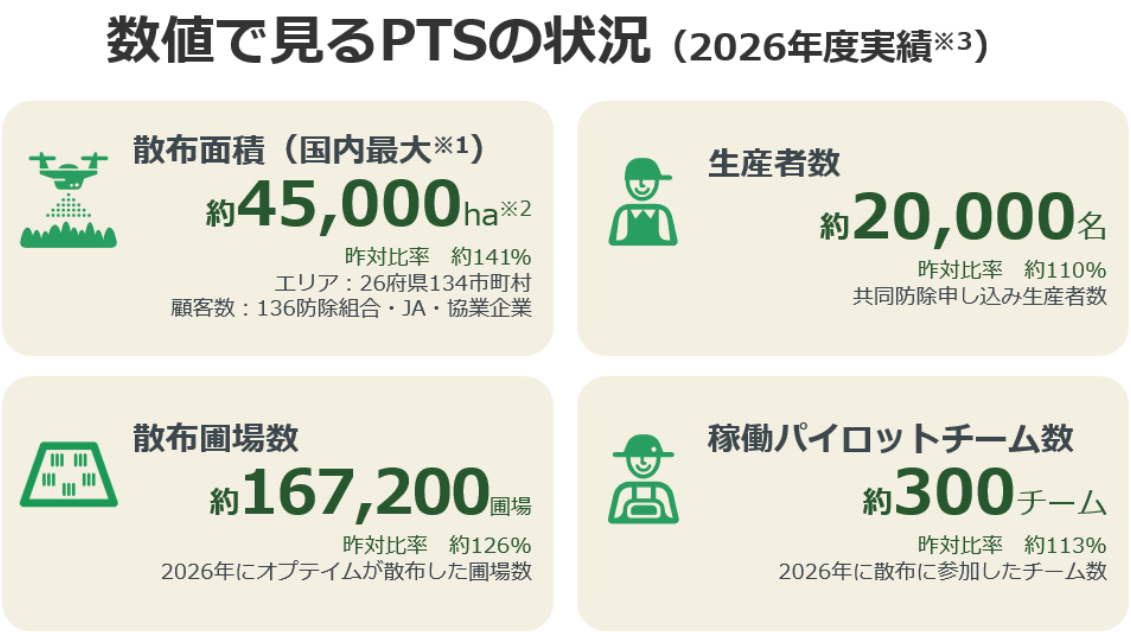
国内シェア No.1※1 ドローン農薬散布 AX サービス「ピンポイントタイム散布サービス」、2026 年度の散布面積は約 45,000ha※2、前年度比約 1.4 倍に拡大

～散布の計画・割り当て・終了予測などの特許技術で散布作業の効率化を推進、2027 年度のお申し込み受付を開始～

AI・IoT・ビッグデータプラットフォームのマーケットリーダーである株式会社オプティム（以下 オプティム）は、ドローン農薬散布 AX サービス「ピンポイントタイム散布サービス」の 2026 年度の散布面積が約 45,000ha※2 となる見込みで、前年度から約 1.4 倍に拡大したことをお知らせいたします。あわせて、2027 年度のご利用申し込みの受け付けと、「ピンポイントタイム散布サービス」を地域へ広げる販売パートナーと散布を担うドローンパイロットの募集をそれぞれ開始いたします。

■2026 年度の実績※3

2026 年度は、26 府県 134 市町村において、136 の防除組合・JA・協業企業にご利用いただき、共同防除にお申し込みいただいた生産者は約 20,000 名にのぼりました。全国で 300 のドローンパイロットチームが散布に参加し、約 167,200 圃場への散布を完了する見込みです。



※1　出典：富士経済「アグリ＆水産養殖ビジネスの現状と将来展望2025」＜農業用ドローン活用サービス・2024年実績・金額ベース＞
※2　延べ散布面積。同一圃場で複数回散布した場合は、散布ごとの面積を合算。前年度比は、2025年度の延べ散布面積（約32,000ha）との比較。
※3　2026年11月時点、オプティムでの2026年度のサービス利用状況をもとに集計。着地見込みを含む。

Press Release



■背景と 2026 年度の拡大要因

地域の生産者がまとまって病害虫防除を行う「共同防除」は、水稲をはじめとする農作物の品質と収量を守るうえで欠かせない仕組みです。近年は、夏の高温の影響とみられる斑点米カメムシ類の被害が多くの地域で報告されており、2025 年には 35 道府県で注意報が発表されました※4。2026 年も、東北から北九州にかけての各地で発生が多くなると予想されるなど※5、適期の防除の重要性が一段と高まっています。一方で、共同防除を運営する防除組合や JA では担い手の確保が年々難しくなっており、無人ヘリコプターからドローンへの切り替えも進んでいます。

運営の現場では、生産者ごとの防除申込書の作成・配布・回収・集計、申込内容を圃場地図に落とし込む作業、散布当日の立ち会いや進捗確認、散布後の面積集計など、散布そのもの以外の事務作業に多くの時間が割かれています。散布を請け負う側でも、適期のうちに多数の圃場を回り切るために、誰にどの圃場をどの順番で任せるかを決める段取りが、担当者の経験に頼りがちです。

そこでオプティムは、「ピンポイントタイム散布サービス」において、ドローンによる散布だけでなく、デジタル地図の作成から申込管理、パイロットの手配、散布の進捗管理、散布後の集計までを、デジタルプラットフォーム上で一貫して提供してきました。

2026 年度は、増えたご依頼に適期のうちにお応えするため、オプティムは散布を担う体制を強化しました。散布の実績にもとづいてパイロットの生産性を評価し、担当圃場や日程の割り当てに生かす仕組みを運用するとともに、優れた実績を持つパイロットからの紹介や、現場監督への段階的な研修を進めました。あわせて、お客様ご自身で圃場地図の修正や追加注文ができる機能を追加し、ご依頼の変更や追加にも柔軟に対応できるようにしました。

こうした散布体制の強化と使いやすさの改善でお応えしたことが、散布面積の拡大につながりました。

■「ピンポイントタイム散布サービス」 2026 年度の主なバージョンアップ・ポイント

◆ポイント 1 お客様の手で、すぐに直せる ― セルフサービス機能の拡充

- 圃場地図の修正や追加注文を、お客様ご自身がシステム上で行えるようにしました。担当者への依頼と確認の往復が不要になり、対応漏れも防げます。
- 申込内容の変更を散布計画へ即時に反映し、作業の割り当て状況をお客様の画面で確認できるようにしました。当日の圃場追加やメニュー変更があっても、散布漏れ・誤散布のリスクを抑えます。

◆ポイント 2 現場で使える ― スマートフォン対応と安定稼働

- 散布計画をお客様のスマートフォンで確認できる機能を追加しました。PC を持ち出さずに、現場で圃場の確認やパイロットへの説明ができます。
- 散布が始まる早朝にアクセスが集中しても安定して利用できるよう、システム基盤を刷新しました。

◆ポイント 3 散布品質を支える人材と体制

- 優れた実績を持つパイロットからの紹介により、新たなパイロットチームが参画しました。現場監督には、Web テスト・事前講習会・現地研修を段階的に実施しました。
- オプティムの機体を長期間使用するパイロットには予備機をあらかじめ配備し、機体トラブルが起きても散布を止めない体制を整えました。
- 1 つの案件をオプティムの担当者が一貫して受け持つ体制に移行し、問い合わせ窓口も一元化しました。事前の打ち合わせは Web で実施し、お客様の移動の負担を減らしています。

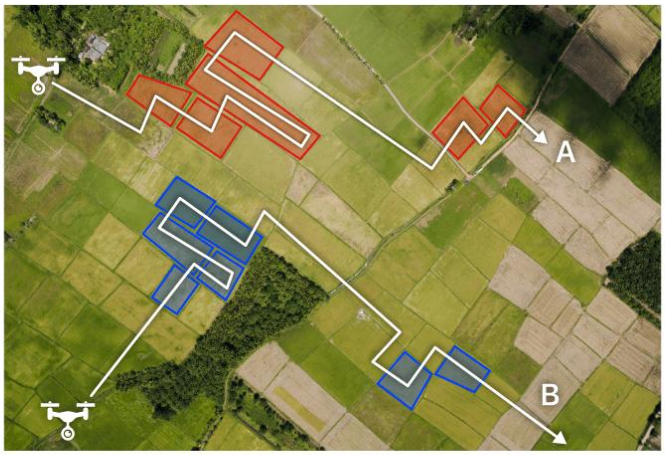
■散布受託業務を最適化する 4 つの特許技術

◆特許 1 パイロットの生産性を、散布の実績から評価する（特許第 7858249 号）

- 散布の実績データをもとに、ドローンパイロットごとの生産性を評価します。
- 経験年数や自己申告ではなく実際の散布実績にもとづくため、一人ひとりに無理のない作業量を見積もれるようになります。

◆特許 2 生産性に合わせて、担当圃場と散布経路を決める（特許第 7755913 号）

- 評価した生産性をもとに、パイロットごとの担当圃場と、圃場を回る散布経路を決定します。
- 担当の偏りや移動のむだを減らし、限られた時間のなかで散布を終えられる計画を立てられます。

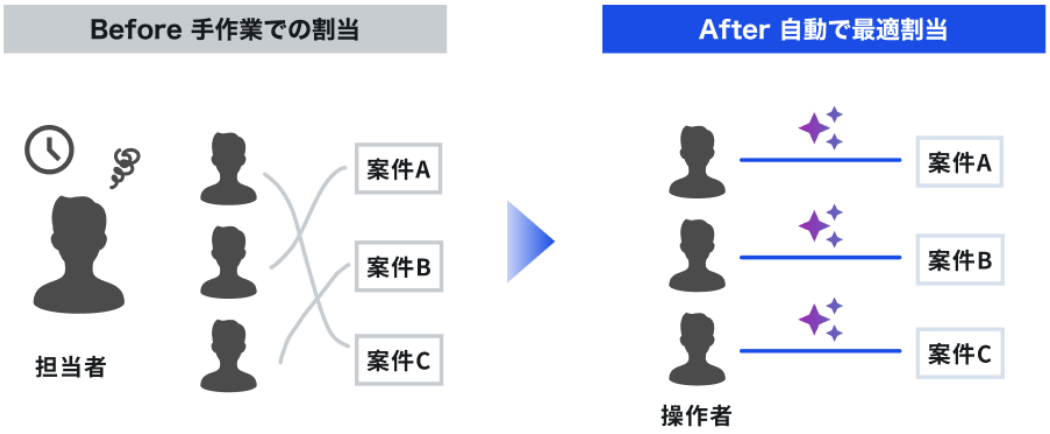


■ の圃場
・担当操作者：第 1 操作者
・経路：経路 A

■ の圃場
・担当操作者：第 2 操作者
・経路：経路 B

◆特許 3 制約条件を守りながら、日程と工数を割り当てる（特許第 7802429 号）

- 散布案件ごとの日程と工数を、あらかじめ定めた制約条件を守りながら、パイロットに割り当てます。
- 散布できる日や時間帯に条件がある圃場が混在していても、条件を満たす割り当てを組み立てられます。



◆特許 4 散布の終了時刻を予測し、当日の実績で補正する（特許第 7862914 号）

- 散布の終了時刻を予測したうえで、当日の散布実績を取り込んで予測を補正（カルマンフィルタ）し、改めて予測し直します。
- 天候や機体の状況で進み具合が変わっても終了見込みを更新し続けられるため、お客様は現場に立ち会わずに進捗を把握でき、生産者への連絡や次の作業の段取りを立てやすくなります。

この 4 つの特許技術は、「評価する→計画する→割り当てる→当日に予測し直す」という散布受託業務の一連の流れをカバーしています。散布の実績が積み上がるほど、その実績が次の評価と計画に生かされる仕組みです。「ピンポイントタイム散布サービス」では、これらの技術を散布計画の作成、パイロットの割り当て、散布当日の進捗管理に活用しています。

■2027 年度「ピンポイントタイム散布サービス」のお申し込み受付について

本日より、2027 年度の「ピンポイントタイム散布サービス」のご利用お申し込み・ご相談の受付を開始いたします。対象は、共同防除を運営する防除組合・JA・自治体・生産者団体などの皆さまです。水稲に加え、麦・大豆の防除や、2026 年 2 月より全国提供を開始した「ドローン遮光・遮熱剤散布 AX サービス」など、農薬以外の資材の散布についてもご相談いただけます。

デジタル地図の作成や防除申込書の準備には一定の期間を要するため、お早めのご相談をおすすめいたします。

お申し込み・ご相談 Web サイト：https://www.optim.co.jp/contact/pts
お電話：050-1707-3363（対応時間：平日 10:00～18:00）

■今後の展開

今後は、防除申込書の作成から集計までのデジタル化をさらに進め、お客様とオプティム双方の作業負担を減らしてまいります。あわせて、販売パートナーの皆さまとともに新たに共同防除を立ち上げる地域を支援し、防除以外の農作業への散布サービスの拡大にも取り組みます。オプティムは、「楽しく、かっこよく、稼げる農業」の実現に向けて、地域の農業を支えるサービスの提供を続けてまいります。

■販売パートナー・ドローンパイロットの募集

◆販売パートナー

地域の防除組合・JA・生産者の皆さまへ本サービスをご紹介・ご提案いただける販売パートナーを募集いたします。

ご関心をお持ちの企業様は、以下の Web サイトよりお問い合わせください。
https://www.optim.co.jp/contact/agriculture

◆ドローンパイロット

2027 年度の散布に向けて、ドローンによる農薬散布業務に従事いただくパイロットを募集しています。オプティムでは、独自のグレーディング制度と技能講習、事前の業務説明を通じて、初めての方でもプロの散布者を目指せるよう支援しています。散布地図の作成や請求業務はオプティムが代行するため、パイロットの皆さまは散布に集中できます。

詳細は以下の Web サイトをご確認ください。
https://www.optim.co.jp/agriculture/services/pilots/

■「ピンポイントタイム散布サービス」とは

ドローン農薬散布 AX サービス「ピンポイントタイム散布サービス」は、防除作業全体を AX するサービスです。デジタル地図の作成、防除申込書の作成・配布・集計、パイロットの手配、散布の進捗管理、散布後の集計まで、散布にかかわる作業をオプティムが AI を用いて一貫して行います。さらに AI により最適な散布計画を作成し、散布を適期に実施します。これによって防除に関わる作業負担を大きく減らし、防除効果を向上させます。

詳細は以下の Web サイトをご確認ください。
https://www.optim.co.jp/agriculture/services/pts/

※1 出典：富士経済「アグリ＆水産養殖ビジネスの現状と将来展望 2025」＜農業用ドローン活用サービス・2024 年実績・金額ベース＞
※2 延べ散布面積。同一圃場で複数回散布した場合は、散布ごとの面積を合算。前年度比は、2025 年度の延べ散布面積（約 32,000ha）との比較。
※3 2026 年 11 月時点、オプティムの 2026 年度のサービス利用状況をもとに集計。着地見込みを含む。
※4 出典：農林水産省「令和 7 年度 病害虫発生予報第 7 号」（2025 年 9 月 10 日）。斑点米カメムシ類（イネカメムシを含む）の注意報発表数（2025 年 9 月 9 日現在）。
https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/attach/pdf/index-111.pdf
※5 出典：農林水産省「令和 8 年度 病害虫発生予報第 6 号」（2026 年 8 月 5 日）。
https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/attach/pdf/index-108.pdf

Press Release

製品情報：　https://www.optim.co.jp/services
Facebook：　https://www.facebook.com/optimjpn
X　：　https://x.com/optim_jpn

【株式会社オプティムについて】

商号：	株式会社オプティム
上場市場：	東京証券取引所プライム市場
証券コード：	3694
URL：	https://www.optim.co.jp/
OPTiM TOKYO：（東京本社）	東京都港区海岸 1 丁目 2 番 20 号 汐留ビルディング 18 階
OPTiM SAGA：（佐賀本店）	佐賀県佐賀市本庄町 1 オプティム・ヘッドクォータービル
OPTiM KOBE：	兵庫県神戸市中央区小野柄通 7 丁目 1 番 1 号 日本生命三宮駅前ビル 11 階
代表者：	菅谷 俊二 菅谷 俊二
主要株主：	NTT 東日本株式会社 富士フイルムホールディングス株式会社
設立：	2000 年 6 月
資本金：	445 百万円
主要取引先：	株式会社 NTT ドコモ、NTT ドコモビジネス株式会社、NTT 西日本株式会社、NTT 東日本株式会社、株式会社大塚商会、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、KDDI 株式会社、株式会社小松製作所、ソフトバンク株式会社、パナソニックソリューションテクノロジー株式会社、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社、リコージャパン株式会社など（五十音順）
事業内容：	AX 事業 アグリテック事業

【Copyright・商標】
※ 記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。
※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。商品・サービスの料金、サービス内容・仕様、お問い合わせ先などの情報は予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】
株式会社オプティム　広報担当
TEL: 050-1746-3938　FAX: 03-6435-8560
E-Mail : press@optim.co.jp
ピンポイントタイム散布サービスページ : https://www.optim.co.jp/agriculture/services/pts